一般会計

178億6,000万円

歲入

市税、使用料等の「自主財源」 県支出金 9億9,106万円 は前年度比7.7パーセントの 増、国・県支出金や地方 譲与税・交付金 10 億 6.820 万円 交付税等の「依存財 市税 市債 47 億 9,827 万円 源」は前年度比 4.5 18 億 6,520 万円 パーセントの増と なっています。 自主財源 依存財源 【有利な起債】 80 億 657 万円 98億5,343万円 国庫支出金 44.8% 起債の方法は様々 55.2% 20 億 7.897 万円 で小諸市では、 繰入金 消防庁舎の整備事 15億4,321万円 業に「緊急防災・減災 事業 | 債でお金を借り 使用料・手数料 地方交付税 2億6,465万円 ています。通常、「防災対 その他 38 億 5,000 万円 分担金・負担金 7億9,449万円 策事業」債で借りることが 繰越金 2 億円 多いなか、この両者は借りたお金を **寄附金** 2 億 642 万円 返す際、自治体に地方交付税として戻ってくる割合が前 者の方が約2倍多くなります。このように起債する際は、

歳 出

有利な起債について検討しています。

「子育て・教育」、「環境」、 6億4,746万円 「健康・福祉」、「産業・交 人件費 繰出金 流」、「生活基盤整備」、 24 億 2,431 万円 15 億 1,063 万円 「協働・行政経営」の 市の総合計画に掲げ 補助費等 られた6つの柱を 24 億 295 万円 扶助費 中心に、事業内容 義務的経費 その他 28億415万円 78 億 5,035 万円 67 億 8,919 万円 を精査し、限られ 44.0% **維持補修費** 2.億3,349万円 38.0% た財源を効率的に 活用する予算編成 投資的経費 としました。 公債費 32億2,046万円 18.0% 物件費 15億6,073万円 30 億 5,582 万円 普通建設事業費 31 億 8,520 万円 **災害復旧費** 3.526 万円

用語解説

【地方交付税】地方公共団体が等しく事務を行うことができるよう、一定の基準で国が交付するもの/【市債】資金調達のための借入金/【繰入金】特別会計や基金から一般会計に繰り入れるもの/【扶助費】高齢者、児童、生活困窮者等への支援に要する経費/【公債費】市が借り入れた借金(市債)の元金、利子の償還金/【普通建設事業費】道路や橋、公共施設の建設に要する経費/【繰出金】一般会計から特別会計への繰出金

平成 31 年度

business

当初予算

本年度は、「子育で・教育」 や「生活基盤整備」など市 民生活に密着した施策へ重 点的に配分しつつ、引き続き 「複合型中心拠点誘導施設」 関連事業、「消防庁舎整備」 事業を着実に進めます。また、 「観光地域づくり」など、小 諸市の産業振興にも手厚く 予算措置を行っています。

一般会計以外の会計はこちら



主な特別会計

国民健康保険事業

44 億 4,200 万円

後期高齢者医療

4億8,600万円

介護保険事業

38 億 6,400 万円

奨学資金

895 万円

住宅新築資金等貸付事業

6,100万円

小諸公園事業

1億3,200万円 野生鳥獣商品化施設運営事業 1,920万円

企業会計

●水道事業会計

収益・収入 9億7,058万円 収益・支出 8億7,335万円 資本・収入 4億6,229万円

資本・支出 7億1,714万円

●公共下水道事業会計

収益・収入 11億9,925万円 収益・支出 11億6,666万円 資本・収入 6億3,743万円 資本・支出 10億6,481万円

●農業集落排水事業会計

収益・収入 3億3,967万円 収益・支出 3億3,958万円 資本・収入 4,169万円 資本・支出 1億694万円

※企業会計では、資本的収入が支出に対して不足する場合には、減価償却費などの企業内部で留保されている資金などの補てん財源で補てんするものとされています。